

2/14

この度、第72回優良公民館表彰（全国で75館）において、表彰館の中でも特に優れた活動を行ったとして、倉吉市上灘公民館が優秀館（全国で5館）に選ばれました！この表彰は、H28年度から行っている「**うわなだ未来塾**」の事業が評価されたものです。この事業は、地域の活性化に向けての人づくり・地域づくりが必要と考え、「**地域に愛着と誇りを持った青少年の育成、次世代リーダーの育成、豊かな人間関係の醸成**」を目的として始めた事業です。事業は、企画から運営まで一緒になって行ってくれる地域の有志メンバー『企画運営委員』と、小学校の先生方・地域住民の賛同者(ボランティア)の協力のもと開催することができました。「うわなだ未来塾」は、主に小(高学年)中学生を対象に、倉吉市役所、倉吉淀屋、フィギュアミュージアムや上灘地区内をめぐり上灘や倉吉の発見をする**地域探検**、倉吉未来中心、明治製作所、鳥取看護大学などをめぐる**企業探検**、うわなだ桜まつりでの中学生屋台コーナーを盛り上げるための**桜まつり作戦会議**などを開催しました。特に、6年生を対象とした地域探検「クイズラリーで上灘を探検しよう♪」では、県立厚生病院もさることながら、地域の方々の大きな協力を得ての開催は、子ども達だけでなく私たちにとっても意義深い事業となりました。また、この表彰は“地域の方々の協力があってこそ”の受賞だと思っており、小学校の先生方や地域の皆さんに感謝の気持ちで一杯です。“大人になっても上灘や倉吉を誇りに思える人になって欲しい”との思いから、「うわなだ未来塾・地域探検」は、日程や方法を協議し工夫しながら今後も続けていきたいと思っていますので、引き続き 皆さんのご協力と参画をよろしくお祈りします♡



【上灘探検・厚生病院での様子】



【上灘探検・小学校発祥の地】



【焼きそば準備の様子】



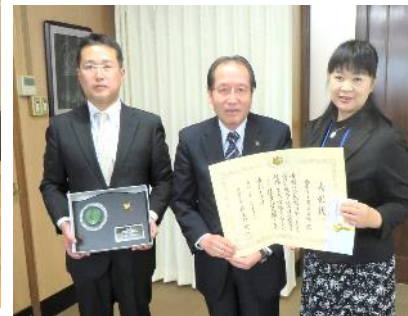
【文部科学省・表彰式会場にて】



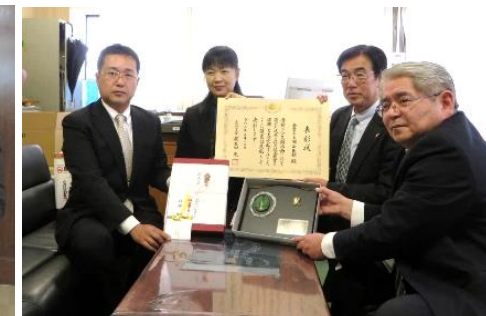
【企業探検・未来中心での様子】



【桜まつり・中学生屋台の様子】



（地区青少協・山口会長と共に）



【倉吉市長、教育長への報告会の様子】

上灘公民館(倉)が優秀館

19年度文科大臣表彰



桜まつりの屋台を想定し、地域住民と焼きそば作りを取り組む子どもたち

同表彰は、各都道府県教育委員会の推薦を受けた公民館を文科省が審査し、19年度は全国で75公民館が受けた。特に優れた5公民館を優秀館とし、表彰式に合わせて最優秀館を選ぶ。上灘公民館は16年度から3年間、子どもたちに対する愛着を持ってもらう目的で、「地域づくり講座うわなだ未来塾」を展開し、地域住民有志が運営した。上灘小学校の土曜日授業を使い、6年生に学校周辺にある旧国鉄倉吉線上灘駅、県立厚生病院や大御堂廃寺を回ってクイズやスタンプラリーを行った。

また、毎年4月の「桜まつり」に向け、高学年児童と中学生が出店する屋台を想定し、焼きそばやたこ焼きを調理し、本番に向けた準備を話し合うワークショップを実施した。同公民館

住民協力小中生育成む

創意工夫を凝らした取り組みを展開し、地域住民の学習活動に貢献した公民館をたたえる2019年度の優良公民館文部科学大臣表彰で上灘公民館(倉吉市上灘町)が優秀館に選ばれた。公民館行事での

小中学生育成が評価された。倉吉市内から優秀館の選出は2年連続2度目。2月14日に東京都内で表彰式がある。(柴田広大)

によると、塾に参加後さまざまな地域行事への出席が増えているという。上灘公民館の徳井幸弘館長(66)は地域住民の協力あつての受賞を喜び「子どもたちが県外に出たとしても倉吉に愛着を持ち続けてほしい」と願った。